

検事総長と語ろう会

☆ 検事総長自らが、裁判員制度が始まるころに成人となり裁判員に選ばれる可能性がある中学生に直接語りかけ、率直に質問に答えるという企画。

	日時	学校名	学年	人数	実施場所	備考
1	H17.6.23	お茶の水女子大学附属中学校	2, 3年生	約10名	東京地方検察庁	
2	H17.10.3	新宿区立落合第二中学校	3年生	約25名	落合第二中学校	給食付き(総長が、先生・生徒と一緒に給食をいただく)
3	H17.10.18	中央区立銀座中学校	3年生	約10名	東京地方検察庁	

平成17年6月24日(朝刊)

日本経済新聞(43面)



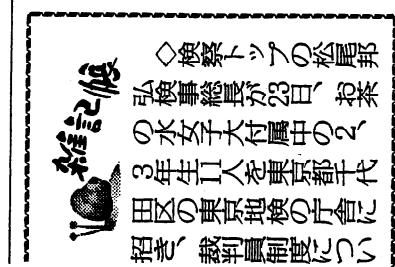
◎…参加したのはお茶の水女子大附属中学二年生の男女十一人。制度開始のころに成人を迎えるとあって、迎え松尾総長は身ぶらりを交えて五十分間、裁判員の役割を熱っぽく語った。裁判員制度が二〇〇九年五月までに始まるのをだけでやればいいので前に、松尾邦弘検事総長は「選ばれたらぜひやる裁判に参加したりたい」と前向きな生徒(62)は二十三日、中学校長は「顧客席にいた国民を初めて開いた」写真。P.R.に躍起だった。



毎日新聞(29面)

△検察トップの松尾邦弘検事総長が23日、お茶の水女子大附属中の2、3年生11人を東京地検の庁舎にて招き、裁判員制度について「語ろう会」を開いた。写真・手塚耕一郎。
◇生徒からは「専門家の方が正確では」「へこたない」と素直に意見を述べたが大切。皆さんに参加してもらいたい開かれた良い度の大切さを教えてあげる」とほほ笑む子供たち。法務省や松尾総長の狙いは達じたか?

【現場報道】



△検察トップの松尾邦弘検事総長が23日、お茶の水女子大附属中の2、3年生11人を東京地検の庁舎にて招き、裁判員制度について「語ろう会」を開いた。写真・手塚耕一郎。
◇生徒からは「専門家の方が正確では」「へこたない」と素直に意見を述べたが大切。皆さんに参加してもらいたい開かれた良い度の大切さを教えてあげる」とほほ笑む子供たち。法務省や松尾総長の狙いは達じたか?

【現場報道】